

BEST AVAILABLE COPY

⑬ 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 50-33623

④公開日 昭50.(1975) 3 31

②特願昭 48-85079

②出願日 昭48.(1973) 7.28

審査請求 未請求 (全5頁)

庁内整理番号

5834 22

⑤日本分類

86(4)E41

⑥Int. Cl.²

E04B 5/54

特 許 公 報

特 許 公 報 (口)

昭和48年7月24日

特許庁長官

1. 発明の名称 組立式風車天井の施工方法

2. 発明者

住 所 名古屋市北区辻本通1丁目4番地

氏 名 著 林 武 文

3. 特許出願人

住 所 名古屋市北区辻本通1丁目4番地

氏 名 著 林 武 文

4. 添付書類の目録

(1) 明 細 書

1 通

方式

(2) (図 面)

1 通

明 細 書

1. 発明の名称 組立式風車天井の施工方法

2. 特許請求の範囲

(1) 四枚の直角三角形形状の天井板の勾(コウ)の部分折り曲げ、高みをつけ隣の天井板受(コブ)の一部に重ねてゆく方式で組んだ天井で、一見風車状をなし、勾(コウ)の重なった部分を調整することによって部屋寸法に順応させることを骨子としている。

部屋の四角近くから出る併用材(羽木と天井材の役を兼す一本の材)が部屋の中央部で集まり、交互に上乗せさせて併を組む。併用材と部屋の周壁との間に出来た直角三角形形状の面積よりも受(コブ)の部分に張出し分を加えた天井板を作っておき、併用材の下端一部に張る。他の併用材の先端

をさげて組むから隣合う天井板との間に併用材を挟んで段違いを虫じながら重なり合う。重なる部分にはあらかじめ大きめの穴をあけておき併用材の調整をなした後には適宜方法で一体化し固定する。部屋の周壁に取付く廻り子はこの段違い分を傾斜としてあらかじめ取付けておく。尚直角三角形形状の天井板は一枚のましても、任意に細分してその部分に調整可能な目板を入れたり、板重ねにしたりしても良い。中央に組まれた料の外周端に直角三角形の鋭角部分を切り落した形の斜側板を張り、斜上端を水平に揃えたがら段次張りつける。最後に斜上端に天井板を張って仕上げる。以上の様に中央斜上に張られる天井板と直角三角形形状の天井板が併用材を挟んで上下に重なり、この重なり分の調整で天井板の長短調整が為せ、部

屋の横巾寸法に対しては勾(コウ)部分で設置い
に重ねて止着する為、その重なり分の増減調節で
容易に順応させ得る事を特徴とする風車状天井の
施工方法。

① 部屋の四隅近くから出る併用材①(隅木と天井
材の役を為す一本の材)と部屋の周縁の中央近く
から出る併用材②(天井骨材と天井材の役を為す
一本の材)が部屋の中央部で集まり、隅の併用材
に順に上乗せしながら八角形の斜を形づくる。重
なる部分にはあらかじめ大きめの穴をあけておき併
用材の調節をなした後に適宜方法で一体化し固
定する。

併用材と部屋の周縁との間に三角形が出来るが併
用材に関する辺に突出し分を加えた三角形の天井板を
作り、併用材の下端に張る。固めつた併用材に上

特開昭50-33823(2)

乗せさせて組むから固めつた天井板との間に併用
材を挟んで設置いを生じながら重なり合ふ。

天井板の三角形の一边(部屋の周縁に取付く辺)
と同じ長さの張り子を設置い分を傾斜にして予か
じめ部屋の周縁に取付けておく。中央に組まれた
斜の外側端に直角三角形の鋭角部分を切り落した
形の斜板を上端を水平に据えながら順次張りつ
ける。最後に斜上端に天井板を張って仕上げる。
以上の様に斜上端に張られる天井板と三角形の天
井板が併用材を挟んで重なっているからこの重な
り分の調節で天井板の長短調節が出来、部屋の横
巾寸法に対しては併用材を挟んでの設置い重なり
分の調整で容易に順応させ得ることを特徴とする
風車状天井の施工方法。

8. 発明の詳細な説明

この発明は部屋の四隅又は四隅とその中央で天井
板が設置い重なり合ひながら上へ昇り中央部に
空間を作り、その空間上に別の天井を持つ立体感
に溢れた趣のあるもので、趣かしい天井を容易に
組立施工をし得ることを目的としている。

従来天井は現場寸法が個々に異なる為に現場にて
採寸した寸法を基として作られてきた。この程の
高度な技術を要する天井の現場製作は非常に高価
なものになり一般人達には設置いものであつた。
この発明はこれらの欠点を解消せんとしたもので
ある。

四枚の直角三角形の勾(コウ)の部分折り曲げ、
高きをつけ、隅の直角三角形の足(コソ)の一部
に重ねてゆく方式で組む、一見風車状をなし、勾
(コウ)の重なつた部分を調整することにより大

きさを定めることが出来ることを骨子としている。
これをそのまま適宜方法で上から吊せば天井とな
るが、普通の木造家屋に用ふる為には次の様にな
す。一本で隅木と天井材の役をする併用材①、一
本で天井骨材と天井材の役をする併用材②、天井
材材に取付ける側板、天井板等をあらかじめ部屋
の大きさに応じて標準寸法で作つておき大工が現場
で部屋の四辺及び対角寸法に差異が有るにかかわ
らず、(発明(1)の場合)併用材①を部屋の四隅近
くから出し、部屋の中央部で集め隅の併用材に順
に上乗せしながら斜を形づくる。重なる部分には
予かじめ大きめの穴をあけておき併用材の調節を
なした後に適宜方法で一体化し固定する。併用材
と部屋の周縁との間に出来た直角三角形よりも足
(コソ)の部分に突出し分を加えた大きさに作ら

れている天井板を併用材の下一面に張るが図の併用材に上乗せして組むから、図合と天井板とは併用材を挟んで段違いを生じながら重なり合う。部屋の周縁に取付く廻り子はこの段違い分を傾斜としてあらかじめ取付けておく。直角三角形の空(ゲン)の部分がこの廻り子上に取付く。斜上に直接天井板を張れる状態になつていないので図板(直角三角形の鋭角部分を切り落した形で長分長目に作られている)を上端を踏まえながら順に斜外面に張りつけ最後に斜上に天井板を張り仕上げる。

(発明(2)の場合)部屋の四隅近くから併用材①、部屋の周縁中央近くから併用材②、が尖々出て部屋中央部で集まり図の併用材に順次上乗せして組み八角形の斜を形づくる。重なる部分にはあらかじめ大きめの穴をあけておき併用材の調節をなした

増す。直角三角形の天井板は任意に細分しても良く、その部分を仮置ねにしたり調整可能な目板を入れても良い。

以上の如く大工なら容易に組立施工なし得る事を目的としたもので以下この発明を図面に示す実施例に基づいて説明する。

第1図～第3図の第(1)実施例に示す発明は併用材①が四隅近くから部屋の中央上部に集まり交互に上乗せしながら斜を形づくる。重なる部分にはあらかじめ大きめの穴をあけておき併用材の調節をなした後に適宜方法で一体化し固定する。直角三角形の天井板③を併用材下部に張り図合つた天井板とは併用材を挟んで段違いに重なる。段違い分を傾斜として廻り子④を部屋の周縁に取付けておき天井板の空(ゲン)の部分を廻り子に取付ける。

特開昭50-33623(3)

後に適宜方法で一体化し固定する。併用材と部屋の周縁との間に三角形が出来るが斜に面する辺に持出し分を加えた大きさに作られた天井板を併用材の下一面に張る。図合つた天井板とは併用材を挟んで段違いに重なり合う。部屋の周縁にはこの段違い分を傾斜とする廻り子をあらかじめ取付けておく。斜側板を上端を踏まえながら順に張りつけ上に天井板を張って仕上げる。

以上の図例共に標準寸法と調整寸法の調整に対しては斜上に張られる天井板と併用材の下一面に張られる天井板の重なり分の増減で長短調整が出来、天井板の幅巾調整は併用材を挟んでの段違い重なり分の増減で調整出来る。周中央斜を部屋中央上部へ取付け天井板に勾配をつける様になると、施工上取扱いが楽で、その上部標準寸法への取応度も

中央斜の外横端に直角三角形の鋭角部を切り落した形の斜側板⑤を順次張りつけ上部に天井板③を張って仕上げる。併用材の下端に張られる天井板で図合つた天井板と段違いに重なる分を⑥とし、斜上の天井板と矢張り段違いに重なる分を⑦とすると天井板の長短は⑥、幅巾寸法は⑦、で尖々増減すれば容易に調整でき、調整寸法に取応できることを特徴とする組立式風車状天井の施工方法である。

第4図の第(2)実施例に示す発明では、併用材①が四隅近くから、併用材②が部屋の周縁中央近くから尖々部屋の中央上部に集まり、順に図の併用材に上乗せしながら八角形の斜を形づくる。重なる部分にはあらかじめ大きめの穴をあけておき併用材の調節をなした後に適宜方法で一体化し、固定す

る。併用材④と部屋の内縁との間に出来る三角形形状が出来、斜に跨る辺に持出し分を加えた大きさに作られた天井板⑤を併用材の下端一面に張る。適合した天井板とは併用材を挟んで設置しに重なり合ふ。三角形の辺の内、部屋に取付く辺と同じ長さに切られた廻り子③を上記設置い分を傾斜しながら部屋の周縁にすかしめ取付けておき廻り子上に天井板を止着する。斜外縁に斜面板を上端に覆えながら用に取りつけ、上に天井板⑤を張って仕上げる。併用材の下端に張られる天井板で、適合した天井板と設置いに重なる分を①とし、斜上の天井板と矢張り設置いに重なる分を②とすると、天井板の長短は①、覆巾寸法は②、で夫々増減すれば容易に調整寸法に服従させ得ることを特徴とする組立式風車状天井の施工方法である。

特開昭50-33823(4)
る。両例とも天井板は三角形で示されたが任意に細分しても良い。

以上の様に前もって部材一式を作っておくことが出来量産が可能、安価に提供出来、取つけ易く、仕上った天井は従来にない趣に富んだものである等種々の利点を持つている。

図面の簡単な説明

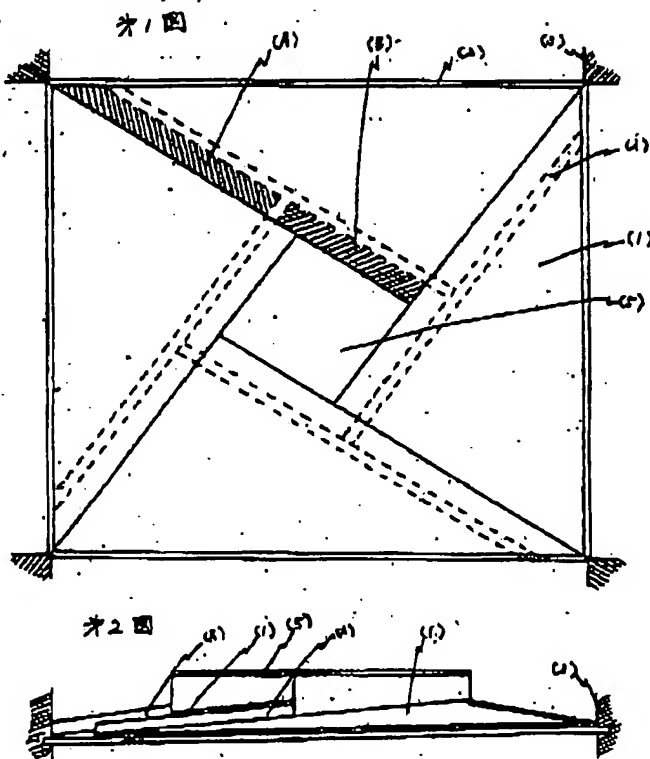
第1図はこの発明(1)の風車状天井を示す底面図、第2図は側面図、第3図は併用材両面の組合せと天井板の重なりを示す斜視図

第4図は発明(2)の風車状天井を示す底面図

- (1) - 直角三角形状の天井板、(2) - 廻り子、(3) - 柱
(4) - 直角三角形の斜角部を切除した形の斜面板
(5) - 斜上に張る天井板、
(6) - 併用材下端に張る天井板

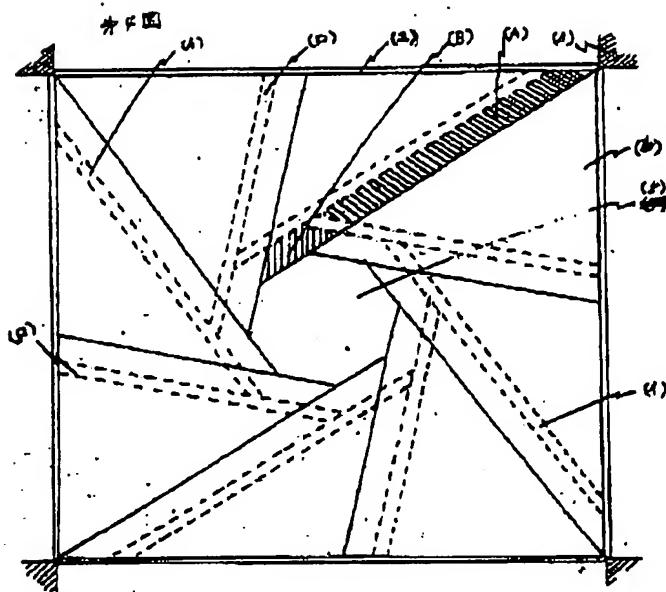
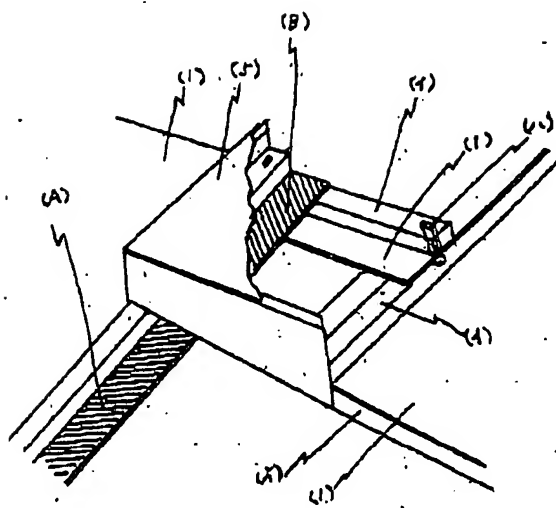
- (A) - 併用材を挟んで適合した天井板と重なる分
(B) - 併用材を挟んで斜上に張られる天井板と重なる分
(C) - 剛木と天井材の役をする併用材
(D) - 天井骨材と天井材との併用材
(E) - 併用材の開口部

出願人 著 林 武 文



特開 昭50-33623 図

才 図



全訂正
112

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.